

フリースクール等こどもの居場所 ネットワーク交流会&スタッフ研修会 開催レポート（概要）

不登校など様々な困難を抱えるこどもたちの居場所として重要な役割を担うフリースクール等の取組みについて、**相互に学び合い、連携を深めることを目的に開催**しました。現場での悩みや工夫を共有し、日々の支援に活かす機会となりました。



富山県厚生部 こども家庭室 こども未来課

【開催日時】

令和8年9月6日（日）13:30～16:00

【開催場所】 富山県高岡文化ホール（22名参加）

【内 容】

①交流会（事例発表・意見交換・全体共有）

- ・「虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）にじのおうち」による事例発表
- ・グループでの意見交換・全体共有

②スタッフ研修会

「安心できる居場所づくり」

NPO法人フリースクール全国ネットワーク

代表理事 木村 清美 氏（オンライン登壇）



交流会（事例発表）①



虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）
にじのおうち（フリースクール）

「虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）にじのおうち」スタッフによる事例発表

＜開設の経緯＞

- ・ 次男の不登校をきっかけに、当事者の親となった。どこで誰に相談すればよいか分からず、当事者同士で話す機会もほとんどなかった。
- ・ 開設当初から大切にしてきた「保護者が気持ちを言葉にできる場所」、「情報交換ができる場所・つながれる場所」が必要であるとの思いは、今も変わらない。
- ・ 保護者が元気になり、笑顔で過ごせるようになることで、こどもたちも自然と動き出す姿が見られるようになった。



＜活動の様子＞

- ・ 活動場所は、元保育園を活用しており、こどもたちは落ち着いた雰囲気の中でパソコンやパズルなど思い思いに過ごすことができる。
- ・ 農家を営む保護者からの声掛けでじゃがいもの収穫やシチューをつくる活動を行ったり、地域の方や関係団体を交えた「オープンデー」（おしゃべり会・ワークショップ等）を開催したりしている。

交流会（事例発表）②

「虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）にじのうちに」スタッフによる事例発表



虹(不登校及び発達凸凹の子どもと親の会)
にじのうちに(フリースクール)

＜つながりと連携＞

- ・ 「地域」「親の会」「スタッフ」「学校」「家庭」とのつながりや連携を大切にしている。
- ・ 拠点がコミュニティセンターを兼ねており、地域の方々との日常的な関わりが生まれている。

＜個別事例＞

- ・ 学校のスクールソーシャルワーカー（SSW）を中心に日々の情報交換を重ね、チームとしてサポートを行う。
- ・ 居場所からSSWへ情報を伝えたり、保護者を交えて懇談会を開いて方針を確認したりしている。
- ・ 関係者の異動やSSWの交代によって、連携がうまくいかなかったり、滞ったりすることがある。



交流会（事例発表）③

「虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）にじののうち」スタッフによる事例発表

＜大切にしている思い＞

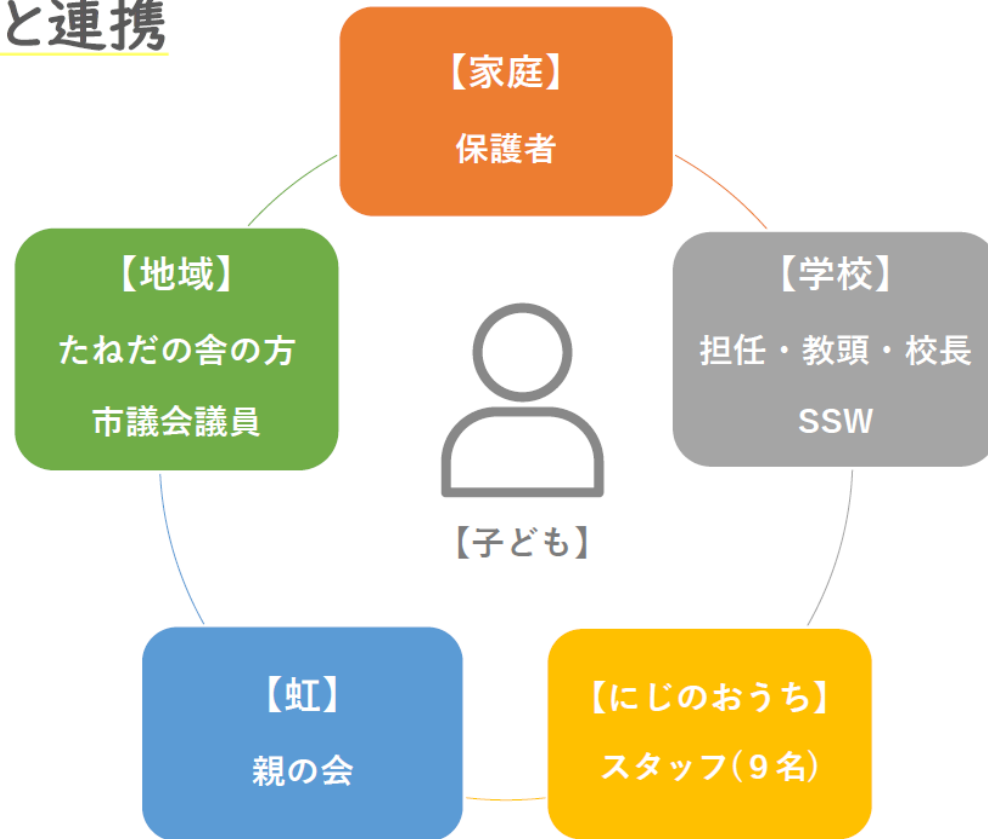
- ・「こどもは大人の背中を見ており、大人が安心してのびのびと自分らしく生きていけば、こどもも安心してよいのだと学ぶ」との考えを大切にしたい。
- ・「うまくいかなかった」と素直に言える、間違いに気づいたら謝る、分からないときは「教えて」と言う、助けてほしいときには「助けて」と言う、そして「ありがとう」を伝える、そうした大人の姿からこどもたちは学んでいく。

＜課題と今後の展望＞

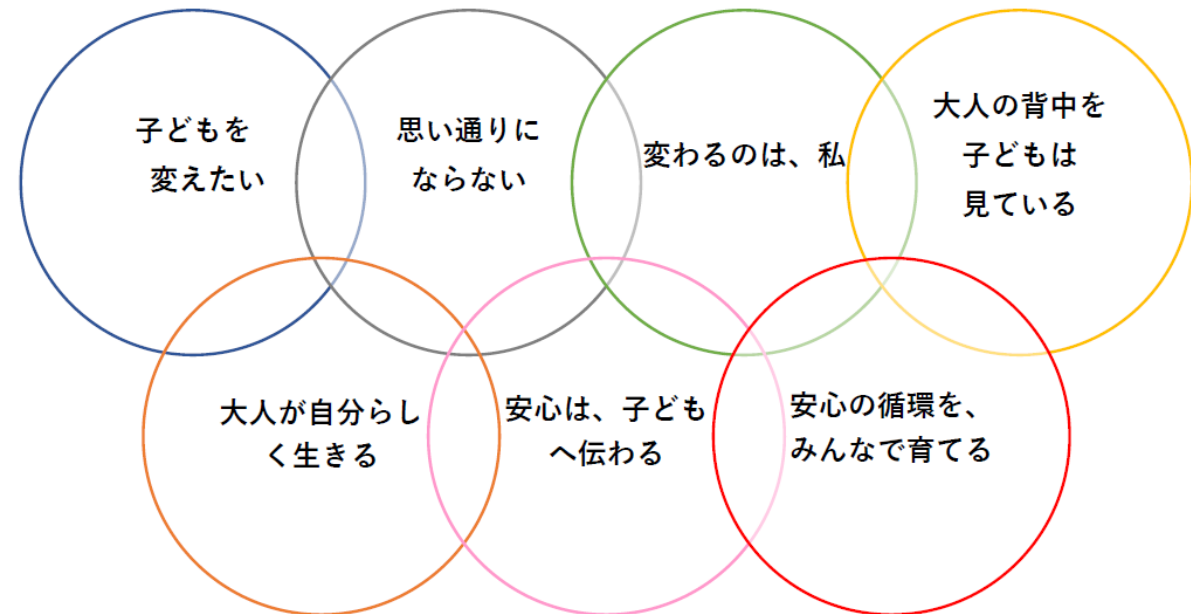
- ・ 運営資金と認知の拡大
- ・ 定期的にチームで作戦会議を開き、現状を確認した上で今後の支援の方向性を話し合っている。
- ・ 大人もこどもも楽しみつつ、居場所を育てていきたい。

「虹（不登校及び発達凸凹の子どもと親の会）にじのおうち」 事例発表スライドより抜粋

つながりと連携



大切にしている思い



グループ意見交換・全体共有

○主な意見

- ・ こどもや保護者を取り巻く環境がこどもの状況に大きく影響している。
- ・ **支援者として話を聴くこと、つながりをつくること、安心できる環境を整えていくことを大切にしたい。**
- ・ 運営面でどのように資金を確保していくか、こどものニーズに沿った活動ができているかなど、抱えている課題を情報交換した。
- ・ 「どこに相談すればよいのか分からないという悩みが最も大きいのではないか」との問題提起を受け、それぞれの思いを大切にした**支援機関同士の連携の難しさ**、必要な情報につながれないもどかしさについて意見交換を行った。
- ・ **必要としている人へ確実に情報が行き渡る仕組みづくりやフリースクール等の居場所について理解を深め、学ぶ機会が必要ではないか。**
- ・ 高校卒業などの年齢の節目で支援が途切れてしまい、次の支援先で再度信頼関係を築かなければならないという現状を踏まえ、継続支援はどうあればよいか。
- ・ 家から出ることができないこどもに、どう関わればよいか。



スタッフ研修会①

講義テーマ：「安心できる居場所づくり」

講師：NPO法人フリースクール全国ネットワーク 代表理事 木村 清美 氏（オンライン登壇）

＜自己紹介と活動の背景＞

- ・ 1996年9月に香川県高松市にフリースクールを開設、今年で30周年を迎える。「学校に行かないことは悪いことなのか」という問いをもち、学校に行くかどうかは本人が選ぶこと、その選択を支えることを大切に実践している。
- ・ 産業カウンセラーとして保護者の相談に応じるほか、キャリアコンサルタントとして子どもや若者の自分らしい生き方・働き方を支援している。また、管理栄養士の資格をもち、こども食堂の運営にも携わり、心と体の両面から子どもたちを支えている。



スタッフ研修会②

講義テーマ：「安心できる居場所づくり」

講師：NPO法人フリースクール全国ネットワーク 代表理事 木村 清美 氏（オンライン登壇）

＜こどもは自ら学び、育つ力をもっている＞

- ・ こどもは自ら学び、成長しようとする力（「内なる学びへの意欲」と呼んでいる）をもっている。大人は、**こどもを信じて見守ることが大切。「焦らず、そのこどものペースを信じてください」と伝え続けている。**
- ・ こどもは何に興味を示すか分からないが、大人が「そんなことをやって何になるのか」とこどもの興味を奪うことがないようにしたい。

＜安心して育つ場所としての居場所＞

- ・ こどもが安心して育つ場所をつくることがフリースクール等の居場所の役割である。一人ひとりのこどもの声に耳を傾け、その子らしい成長を支えるために大切にしたいこととして、「一つの機関だけで抱え込まない」「ありのままの自分でいても大丈夫」「こどもを理解しようとする声のかけ方を意識する」「何に困っているか理解する」「こども自身が考え、選び、成長する力をもっていることを信じる」ことが挙げられる。

スタッフ研修会③

講義テーマ：「安心できる居場所づくり」

講師：NPO法人フリースクール全国ネットワーク 代表理事 木村 清美 氏（オンライン登壇）

＜運営について・・・「できる人が、できることを」＞

- ・ 大切にしてきたのが「できる人が、できることをしましょう」という考えである。調理を手伝う保護者、社会福祉協議会等と連携し、助成金の申請を担う保護者など、保護者自身が関わることで経験が広がり、それが家族やこどもへの支援としても還元されていく。

＜大切にしている価値観＞

- ・ こどもは守られるだけの存在ではなく、自ら考え、選び、決める力をもっている。大人の役割は、こどもを思い通りに導くことではなく、**その子が安心して自分らしく育つことができる環境を整えること**である。
- ・ 大人もこどもとともに学び続けることが大切。大人自身が自分らしく生きることを大切にしたい。

アンケート結果より

- たくさんの方のご意見をお聞きすることができ、とても有意義な研修だった。意見交換は時間が足りないと感じるくらいでした。**今回のような情報交換、共有の場があれば嬉しい。**
- 小学校、中学校の入学時に、フリースクール等居場所に関する**情報はすべての保護者へ周知**するとよい。
- 不登校になった家庭での母親のケア、家族の支援をどうしていけばよいかが、課題であると感じる。仕事ができないなど、世帯収入の低下にもつながる。
- スクールカウンセラー、学校の先生方にフリースクール等の居場所がどのような場所かを知ってもらう研修が必要。また、**居場所について話し合う機会**がもっと必要である。
- 高校入試にあたり、不登校が不利にならない配慮が必要である。
- 不登校の子で居場所に繋がれる子は疲れた心がある程度元気になった子であり、元気が回復するまでの時間は人それぞれ。回復したように見えても、また、自分の殻に閉じこもってしまうこともある。その子を見守る親の支援はこども支援と同等に重要だと思います。**居場所と共に相談できる場所のわかりやすさ**、相談のしやすさなど、改善していったほしいです。



関連リンク

- フリースクール等の運営実態調査について

https://www.pref.toyama.jp/120102/kodomonokenriyogo/puopo-zaru/r7/2025freeschoolkekka_kohyo.html

- こどもの居場所づくり意見交換会（令和7年12月開催）

https://www.pref.toyama.jp/documents/51636/kodo_ibasyo_report_template1.pdf

- こどもの居場所相談会（令和8年2月開催）

<https://www.pref.toyama.jp/documents/51636/sodankai.pdf>

- フリースクール等こどもの居場所づくり支援検討会（令和8年6月～10月）

<https://www.pref.toyama.jp/120102/kurashi/kyouiku/jidou/shienkentoukai2026.html>



問い合わせ：富山県厚生部こども家庭室こども未来課 076-444-3950